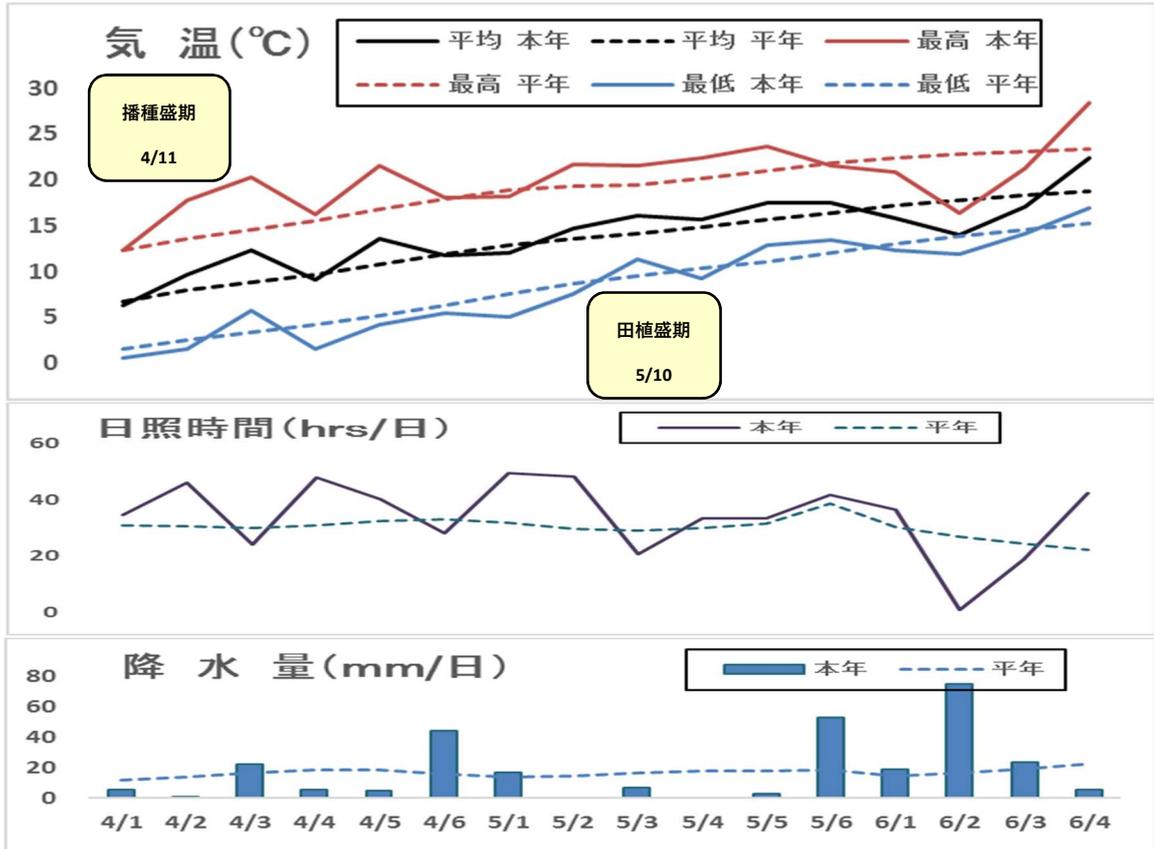


～5月前半移植は概ね有効茎を確保、中干しの準備を～

1 令和4年の気象(古川アメダス)



◆6/23 発表 東北地方の1か月予報(6/25～7/24 までの天候見通し)【気象庁ホームページより】

- ・ 平年と同様に曇りや雨の日が多い。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込み。
- ・ 向こう1か月の気温は、高い確率70%、平年並みの確率20%、低い確率10%。
- ・ 降水量は、多い若しくは平年並みの確率30%、少ない確率40%。
- ・ 日照時間は、多い確率40%、平年並み若しくは少ない確率30%。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	東北地方	向こう1か月 06/25～07/24	10 (低)   20 (平)   70 (高)
		1週目 06/25～07/01	10 (低)   10 (平)   80 (高)
		2週目 07/02～07/08	10 (低)   40 (平)   50 (高)
		3～4週目 07/09～07/22	20 (低)   40 (平)   40 (高)
降水量	東北日本海側	向こう1か月 06/25～07/24	30 (低)   40 (平)   30 (高)
	東北太平洋側	向こう1か月 06/25～07/24	40 (低)   30 (平)   30 (高)
日照時間	東北日本海側	向こう1か月 06/25～07/24	30 (低)   40 (平)   30 (高)
	東北太平洋側	向こう1か月 06/25～07/24	30 (低)   30 (平)   40 (高)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## 2 生育状況（6月20日）〔宮城県古川農業試験場・農業改良普及センター調査〕

(1) 作況試験 5月10日植え ひとめぼれ（宮城県古川農業試験場）

- ・草丈は31.2cmで平年比92%，茎数は488本/m<sup>2</sup>，平年比98%で，**有効茎は概ね確保した。**
- ・葉色（GM値）は43.9で，概ね平年並みである。
- ・葉数は7.8枚で平年より0.2枚少ないが，生育ステージは概ね平年並みと見込まれる。

移植日	草 丈		茎 数		葉 色		葉 数	
	本 年 (cm)	平年比 (%)	本 年 (本/m <sup>2</sup> )	平年比 (%)	本 年 (GM値)	平年差 (GM値)	本 年 (枚)	平年差 (枚)
5月10日	31.2	92	488	98	43.9	0.9	7.8	▲0.2

(2) 【参考】県内品種別（県農業改良普及センター）

- ・草丈は30～32cm程度で，平年比87～96%である。
- ・茎数は305～369本/m<sup>2</sup>で，平年比79～88%となっており，**前回調査時より回復してきている。**
- ・葉色（GM値）は42～44程度で，概ね平年並みである。

- 古川農業試験場の「作況試験」やJAの「展示ほ」における調査結果（データ略）から推察すると，**5月前半に移植された水田では概ね有効茎数は確保されたと思われるが，後半に移植された水田ではまだ茎数の増加が不十分である。**

品種名	草 丈		茎 数		葉 色	
	本 年 (cm)	平年比 (%)	本 年 (本/m <sup>2</sup> )	平年比 (%)	本 年 (GM値)	平年差 (GM値)
ひとめぼれ	31.6	87	335	79	42.6	0.7
ササニシキ	32.3	96	369	83	41.9	1.8
つや姫	30.5	94	305	88	44.3	0.7

## 3 今後の管理

(1) 水管理

- ・**晩期栽培や直播栽培など，目標茎数に達していない水田では，低温時以外は引き続き水深2～3cmの浅水管理を行い，分けつを促進する。**
- ・**有効茎数(400～500本/m<sup>2</sup>)を確保した水田では，根の活力向上や土壌の地耐力向上のため，中干しを実施する。**中干しの期間は，7～10日程度を目安とする。中干しの程度は，田面に小さな亀裂が入り足跡がつく程度の固さとする。排水不良田や排水に時間がかかる大区画水田では，溝切りを実施すると排水が容易になる。
- ・中干しの終了後に急激に湛水状態にすると，土壌の還元が急激に進んで酸素不足となり根を痛めやすいので，**中干しの終了直後は走り水程度**として徐々に湛水状態に戻す。

(2) いもち病対策

- ・**いまだに残苗が放置されている水田があるので，早急に処分する。**
- ・**曇雨天が多くなり，葉いもちの発生しやすい時期になるので，早期発見・早期防除に努める。**
- ・直播栽培など，箱処理剤を使っていない場合は，適期に水面施用剤を散布する。

(3) 斑点米カメムシ対策

- ・畦畔や雑草地・牧草地等の雑草は，計画的に刈り取り，カメムシ類の増殖を抑制する。
- ・水田内でのイヌホタルイ・ノビエ等の残草は，「アカスジカスミカメ」の侵入を促す。残草が目立つ場合は，後期除草剤等で防除する。